

三鷹市立定期駐輪場(自転車・原付) 随時申込みを受付中



三鷹市内には、14カ所の市立定期利用駐輪場があります。利用を希望される方は、空き状況をご確認の上、各駐輪場ごとに所定の手続き時間・場所にて、申し込んでください。

JR三鷹駅南口	自転車8カ所/原付(50ccまで)1カ所	※自転車の利用車種に制限がある駐輪場もあります。 ※新年度からの「利用予約」は、受付できません。
つつじヶ丘駅北側	自転車1カ所/原付(50ccまで)1カ所	
井の頭公園駅周辺	自転車1カ所	
三鷹台駅周辺	自転車4カ所	

●手続きに必要なもの ①申込書(手続き場所にあります)②住所が明記されている身分証 ③学生等料金適用のための証明書(学生証など)



各駐輪場の所在地・手続き方法のほか、空き状況、空き待ち方法は、まちづくり三鷹HPで確認してください。

三鷹産業プラザ 入居者募集 ●随時募集中●

①貸事務所 4階B1区画 専用面積:65㎡

業種 事務所(飲食系を除く店舗業態も可)
月額賃料等 299,000円(共益費込・消費税別)

②貸店舗 1階A2区画 専用面積:64.26㎡

月額賃料等 295,500円(共益費込・消費税別)

建物の構造 鉄筋コンクリート造 地上7階、地下1階建
敷金 賃料3ヵ月分 礼金 なし 更新料 あり



※詳しくは、HPをご覧ください。

第4回みたかFabコンテスト

ものづくりセミナー&交流会 参加者募集

三鷹市在住のクリエイター、株式会社ハイモジモジの松岡厚志さんを講師に招き、「文具のヒットメーカーが語る、売れる価格と売れる価値」と題してセミナーを開催します。

セミナー後は交流会、第4回みたかFabコンテスト表彰式を開催します。

日時 3月23日(月) 場所 三鷹産業プラザ7階

●ものづくりセミナー 16:30~18:00
●交流会・表彰式 18:00~19:00

参加費 1,000円(税込) ※セミナーもしくは交流会いずれかみの参加の場合も同額となります。

申込方法 氏名、連絡先を明記の上、メールで。

問合せ faboffice@mitaka.ne.jp



個人情報の取扱いについて

(株)まちづくり三鷹は、お客様及び当社に関わる方の全ての個人情報について、当社の個人情報保護方針に基づき、適切に保護、管理、運用、利用してまいります。

●個人情報に関する相談窓口

(株)まちづくり三鷹 三鷹市下連雀 3-38-4 三鷹産業プラザ
☎ 0422-40-9669 ☎ 0422-40-9750 ✉ privacy@mitaka.ne.jp

◇無料購読のお申込み・変更・中止のご連絡は随時お受けしています。

コワーキングスペース

ミタカフェセミナー参加者募集



日時	タイトル	講師
2月25日(火) 15:30~17:00	確定申告の基本的な知識と 青色申告のポイント	税理士法人 アイム税理士 青木 裕明さん
3月5日(木) 16:00~17:30	経営者実学サロン (ゲスト講師はhttps://mitacafe.co/を確認)	河瀬 謙一さん
3月19日(木) 18:30~20:00	創業に関する補助金説明会*	多摩信用金庫 中野 英次さん

参加費 各回 500円(税込) ※は無料

起業や経営に関して無料で相談できる「コーディネーター相談」もご活用ください。

申込み・問合せ ミタカフェ
✉ mitacafe@mitaka.ne.jp ☎ 0422-26-6113

🌐 https://mitacafe.co/

春休みRubyプログラミング講座 受講生募集

3・4月の春休み期間中、子ども向けプログラミング体験講座を開催します。

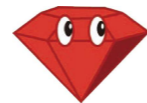
募集講座 ●小学校高学年対象 2日間集中コース
3月28日(土)、29日(日) 13:00~17:00

●中学~高校生対象 4日連続コース
3月30日(月)、31日(火)、
4月1日(水)、2日(木) 13:00~17:00

定員 各コース15名程度(先着順)

場所 三鷹産業プラザ 受講費 各コース 6,600円(教材費、税込)

問合せ ✉ ruby@mitaka.ne.jp



ライフ・ワーク・バランスの実現を応援します

サテラ三鷹 利用者募集



「サテラ三鷹」は、スポット利用や月額利用など、多様なプランが選べる会員制サテライトオフィスです。個別デスクのワークラウンジと、会議等に利用できるプロジェクトルームがあり、テレワークの効率性を高めます。

月額利用 ワークラウンジ19,800円(税込)、その他ドロップイン利用あり。詳しくはHPをご覧ください。



🌐 https://www.satellitemitaka.co/

内容についてのお問合せ

(株)まちづくり三鷹 ☎ 0422-40-9669

〒181-8525 三鷹市下連雀 3-38-4 三鷹産業プラザ

☎ 0422-40-9750 ✉ info@mitaka.ne.jp 🌐 https://www.mitaka.ne.jp/

(株)まちづくり三鷹は、三鷹市全域のまちづくりを総合的に支援することを目的に設立された第三セクターです。

●制作協力：(有)そーほっと



(株)まちづくり三鷹
創立20周年
記念サイト公開中

三鷹

まちづくり通信

2019年度

4号



Poki
©2001 スタジオジブリ

この通信は、地域産業の振興と総合的なまちづくりを推進するために、三鷹市と株式会社まちづくり三鷹が協働で発行しています。三鷹市内のまちづくりに関する事業や催しもの、まちづくり団体の活動などを紹介しています。

第25回 三鷹まちづくりフォトコンテスト 審査結果発表

三鷹まちづくりフォトコンテストは、写真を通じて、より多くの市民に、地域に対する興味・愛着を深めてもらうことや、より良い景観づくりに関する機運を醸成するため開催しているコンテストです。

2019年の一年間に三鷹市内のまちの景観や情景、自然、人々のふれあい、まちかどの一コマなど、三鷹の魅力を発信する写真を広く募集し、市内外187人から543点の作品の応募がありました。1月に審査が行われた結果、以下のとおり入賞者が決定しました。

入賞作品

■一般部門

賞	タイトル	氏名	撮影場所
★市長賞	玉川上水と紅葉	宮口 智弘さん	若草橋(井の頭二丁目付近)
👑金賞	井の頭池がモネの名画のように	齋藤 友良さん	井の頭恩賜公園
👑銀賞	はる・さくら・かわせみ 神田川のこのほりとカガモさん	石川 篤さん 谷口 俊恭さん	仙川 三鷹台駅付近
👑銅賞	井戸端会議 ファンタジー いつまでも一緒にいようね!	小河 裕介さん 寺島 承子さん 大西 香織さん	井の頭恩賜公園 小鳥の森 三鷹の森ジブリ美術館前 大沢
入選	静と動 通過中!	小川 正良さん 岩崎 亮祐さん	井の頭恩賜公園西園 三鷹電車庫跨線橋

■U18部門

賞	タイトル	氏名	撮影場所
★市長賞	丸池パラダイス	山田 泰陽さん	新川丸池公園
👑金賞	赤に染まる	井田 明音さん	鷹南学園 三鷹市立第五中学校
👑銀賞	宇宙の片隅で一休み ザリガニどこかな?	岡 草吾さん 瀬戸 宗佑さん	三鷹中央防災公園 東三鷹学園 三鷹市立第一小学校
👑銅賞	富士見 夜の世界 夢の世界 木の上の鶯	白岩 未来さん 小川 桃葉さん 玉木 智悠さん	中原二丁目 三鷹駅前 大沢二丁目
入選	夜の七井橋 三鷹の古城 おとうさんといっしょ	酒井 煌太さん 藤木 洸太郎さん 小川 愛海さん	井の頭恩賜公園 三鷹市山本有三記念館 井口

○みたか都市観光協会賞

タイトル	氏名	撮影場所
雨上がりの交差点マジック	大島 宏之さん	三鷹駅前

○まちづくり三鷹賞

タイトル	氏名	撮影場所
体験学習	能登 正俊さん	大沢



👑一般部門 金賞
「井の頭池がモネの名画のように」
齋藤 友良さん

★一般部門 市長賞(グランプリ)

「玉川上水と紅葉」
宮口 智弘さん



★U18部門 市長賞(グランプリ)

「丸池パラダイス」
山田 泰陽さん

👑U18部門 金賞

「赤に染まる」
井田 明音さん

※全入賞作品は、フォトコンテスト専用ホームページでご覧いただけます。また、撮影場所がわかるガイドマップも掲載しています。



入賞作品展・表彰式 (どなたでも入場できます)

入賞作品の展示、入賞者へ表彰状、副賞の授与が行われます。

日時 3月26日(木) 場所 三鷹産業プラザ7階
●13:00~18:30 入賞作品展 三鷹市下連雀 3-38-4
●17:30~ 表彰式
※表彰式のあと、審査委員の講評があります。

主催 三鷹市、三鷹まちづくりフォトコンテスト実行委員会 問合せ (株)まちづくり三鷹

「女性のための就労支援講座Part2」 開催報告

1月・2月に「女性のための就労支援講座」が開催されました。人気講座の断捨離セミナーには30名以上の申込みがあり、そのほかタイムマネジメントセミナーやビジネスマナー、応募書類作成セミナーなどにも、30代から60代と幅広い年代の方が参加されました。

2日間連続講座のライフ・キャリアプランセミナーは、1日目に「ライフステージに合わせた働き方」についてグループワークを中心に、和気あいあいとした楽しい雰囲気で行われ、受講者同士「自分の可能性を狭めない考え方を学べた」「就職活動に活かそう」など好評でした。2日目には模擬面接を行い、「面接練習をリアルに体験出来て良かった」と実際の就労に向けた意気込みを感じました。



三鷹市買物支援事業 大沢地域ネットスーパー説明会報告

買物支援事業本部事業として、2月5日(水)に大沢コミュニティ・センターでネットスーパー説明会「やってみたら簡単だった！初めてのネットスーパー」が開催されました。

地域ケアネットワーク・大沢と三鷹市大沢地域包括支援センターの協力を得て、地域の方の日常の買物が楽しく便利になるための選択技を増やすことを目的に行われました。当日は、ネットスーパーの注文方法の説明やインターネット消費者トラブルの話などがあり、注意点を踏まえた利用が紹介されました。

加えて脳若トレーニングなどの体験もあり、なごやかな雰囲気となりました。6日(木)は、実際に使ってみようという人が、会員登録や注文方法を実際に試してみました。高齢者の方にもわかりやすい丁寧なサポートがあり、「難しかったけどがんばって使ってみます」と意欲的でした。



農あるまちを歩き、魅力を再発見する
2019年度北野わくわくプロジェクト

「北野でやきいもしよう!!」 ～北野の公園の未来について考えてみよう！ ワークショップ付き～ レポート

1月25日(土)に北野の畑と公園で(株)三鷹ファームの協力のもと、(株)まちづくり三鷹主催、北野子ども会育成会共催によるやきいもづくりと北野の公園の未来を考えるイベントが行われました。

参加者は、北野子ども会育成会の親子23組の64人。畑でさつまいもをドラム缶に入れて焼き、出来上がるまでの間に、北野中央公園に集まり、公園でどんな活動をしたかなど、アイデアを出し合いました。

その後、待ちに待ったやきいもの試食会。寒い中、アツアツホクホクのやきいもは格別です。

今後も引き続き、地域の方と一緒に、北野の魅力を再発見していきます。



第16回みたかビジネスプランコンテスト 最終審査会報告

11月22日(金)に開催した最終審査会において、「ビジネスプラン部門」と「アイデア部門」から計10件のプレゼンテーションがあり、最優秀賞、優秀賞、特別賞が決定しました。

詳しくはHPをご覧ください。



ホームページ



中高生国際Rubyプログラミングコンテスト 2019 in Mitaka 開催報告

未来のICT人材の育成と、国産プログラミング言語「Ruby」の普及を目的に、12月7日(土)三鷹産業プラザで同コンテストの最終審査会が開催されました。

応募103件の中から最終審査に残った11作品のプレゼンテーションが行われ、審査の結果、入賞者が決定しました。

詳しくはHPをご覧ください。



三鷹在住のライター 小田原 洋が、三鷹でまちづくりの一翼を担う人にスポットを当て、事業活動を通して紹介します。

持てる力を持ち寄って、無理なく応援 農家や農業は三鷹の宝

まちなか農家プロジェクト プロジェクトリーダー 苔口昭一さん

三鷹には畑があり、農家があり、特産品のキウイフルーツやギンナンをはじめ、多種類のおいしい野菜や果物、植木や花が作られています。しかし三鷹市民でも知らない人は少なくありません。三鷹育ちの苔口昭一さんも、4年前まで「よく知らなかった」と言います。そんな苔口さんは今では地元の農家を応援する「まちなか農家プロジェクト」のプロジェクトリーダーです。活動を始めた経緯や、会社勤めをしながら地域活動をするコツを伺いました。



スマートでかつ自然体な苔口さん

* WEBサイトで農家を「見える化」

苔口さんが地元の農業に関心を寄せたのは、2016年4月、三鷹市市民協働センターで開かれた「市民×IT」というイベントに、運営の1人として関わったときでした。地域の課題を、ITを使って解決するという主旨で、子育て、防災などと並んで、課題に挙げたのが農業でした。分科会でさらに農業について考えを深めていき、農業者と意見交換をするなかで、「農家さんがやっていることを住民が知らない、畑や農業があることすら知られていない。それならWEBサイトで彼らを『見える化』するのが大事だと気づきました」と苔口さんは振り返ります。

苔口さんも含め、10人ほどの仲間は30～40代が多数。仕事のかたわら毎日のようにネット上で議論を重ね、その年の秋にはWEBサイトがスタートしました。「ロゴを作る人、チラシを作る人、サイトを作る人など、それぞれが持っているスキルを持ち寄って、スピードを持って立ち上げにこぎつけました」。

* 活動は、知らせる・交流する・食べる

活動には3つの柱があります。1つはWEBサイトから情報を発信して「知らせること」。「三鷹の農家さんは地産地消の農作物を作っているだけでなく、小学校全校で食育のゲストティーチャーをし、学校給食に野菜を提供し、さらに消防団員として地域の安全を、お祭りの担い手として地域文化を守っている。そうしたことは、新聞では紹介されていましたがなかなか知るすべがありませんでした。農家さんは子どもたちには有名で、ヒーローなんです」と苔口さん。「農家さんをネット上でもヒーローするのが狙いです。「三鷹に畑を残そう」という声を広げて、農家を応援していきたい」と考えています。

活動の2つめは、まちなか農家さんを知った人の「交流の場」である、オンラインコミュニティの運営。3つめは実際に「買える、食べられる機会の創出」です。三鷹駅周辺で毎月、農作物の受け渡しを行っています。

* 地域活動は無理なく、が鉄則

発足から4年が経ち、活動の効果はさまざまな形で現れています。WEBサイトには注文や問い合わせ、取材の依頼が増えています。プロジェクトを手伝いたいという志願者も名乗り出ています。他団体と共催して、都市農業と防災を考えるイベントも開催しています。1月には農家さんをゲストに迎えて、「まちなか農家ラジオ」の公開収録を行いました。ラジオは新たな交流の場となる計画です。

活動の幅が広がり、都心の会社に勤める苔口さんには、負担が大きくなるのではないのでしょうか。疑問を投げかけたところ、「平日は18時まで働き、夜は農家さんやメンバーと打ち合わせ。土日のどちらかは農家に行ったりイベントをしたり。でも残りの1日は必ず休みます。無理はしません」とのこと。

都心に通勤しながら地域活動を始めるのに、ハードルを感じる人もいないのでしょうか。「気になるイベントや活動があったら、まず行ってみるのが第一歩。どの活動でも門前払いということはないですよ(笑)」。苔口さんは30歳を目前にした頃、自分にも地域でできることがあるのではと自分より40歳も歳上の人に連絡を取ったことがきっかけで、みるみる活動が広がっていったと言います。「三鷹では歳が離れている人でもギャップが少なく、意見を言いやすい。活動しやすいまちだと思います」と同世代にエールを送ります。

まちなか農家プロジェクト

- ◆公式ホームページ: <https://machino.tokyo/>
- ◆公式Twitter: https://twitter.com/machi_noka
- ◆公式Instagram: https://www.instagram.com/machi_noka/
- ◆まちなか農家ラジオ: <https://anchor.fm/machino>



まちなか農家ラジオ第1回公開収録の様子



三鷹特産キウイフルーツの収穫作業を学ぶ会の様子

